



# 担い手通信



JA bank Mic

Topic

今月の話題

## 3系統 特徴確認

# 「これが雑草稲

# はびこる前に対策を

農研機構など

**農** 研機構・中央農業研究センターなどの研究グループは、国内で増えている雑草稲に3系統あることを突き止めました。どれも玄米が赤くなりますが、もみの色や玄米の形、草姿などが系統ごとに異なり、雑草稲を発見する手掛かりになります。雑草稲は気付かずには防除が遅れる例が多く、農研機構・中央農業研究センターでは特徴を知らせ、農家の早期対策を促しています。

雑草稲は、2000年代に長野県などで被害が表面化し、16年までに全国21県に拡大。水田に侵入すると数年でまん延し、除草剤や手作業での防除が必要になります。直播(ちよくは)栽培で多いとされてきました。が、移植栽培でも発生していることが分かり、多くの都道府県で警戒を強めています。

研究グループは、雑草稲

の主な発生エリアである東北、関東、甲信越、東海、近畿で163株の雑草稲を採集。DNAで類縁関係を調べると、三つの系統に分かれます。

一つ目の系統は、もみの色が黒っぽい、草丈は「コシヒカリ」より高く、熟期はやや遅くなります。分布は広く全エリアで見つかっています。二つ目の系統は、もみの色は薄く草丈が高く、熟期はやや

早く、東北と甲信越で見つかりました。三つ目の系統は、もみの色はさまざまですが、玄米の胴が幅広いのが共通します。熟期は早く、関東で見つかりました。

農研機構・中央農業研究



通常の「コシヒカリ」(左)と雑草稲。雑草稲は(左から)もみの黒っぽい系統、色の薄い系統、玄米の胴が幅広い系統(農研機構提供)

## 数字でみえる 三重県の農と食

1,107億円

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

## 農業産出額

三重県の平成28年の農業産出額は、東海農政局「平成28年 農業産出額及び生産農業所得(東海農業地域)」によると、1,107億円で前年に比べ1.5%増加しました。これは、米などの部門において産出額が増加したためです。産出額の構成を見ると、米が全体の24%、鶏が18%、野菜が14%で、この3部門で県全体の56%を占めています。

センターは「特徴が当てはまる稲を見つけたら雑草稲の可能性が高い。普及指導機関などに相談し、はびこる前に対策を」と呼び掛けています。



このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

## 浸出時間が短かく高品質な緑茶を発表

**三** 重県農業研究所は、南勢地域の茶の特徴を生かし、短時間の浸出でも水色が濃く、強いうまみと渋味がバランス良く出る緑茶の生産方法を発表しました。淹れ易く、小売販売に適した高品質な茶が実現できるとしています。

うまみ成分を高めるため、生育段階に応じて遮光率を高める二段階被覆技術を導入。蒸程度はかぶせ茶よりやや進め、深蒸し煎茶よりは浅くし、粗揉機後半で風量を下げ、強く揉みこみます。

### JAいがほくぶ

#### 直売所農産物食べて魅力確認 出荷者が料理教室

JAいがほくぶは2月上旬、直売所「とれたて市ひぞっこ」で「農業未来塾料理教室」を開いた。受講者やJA職員ら11人が参加した。未来塾の圃場(ほじょう)で取れたちぢみホウレンソウや「三重なばな」を使い、受講者が料理を作った。農業未来塾は2004年にスタートし、16年度までに計約320人が受講。露地やハウス栽培に取り組み、農作物栽培に必要な技術を学ぶ。JA営農部農産販売課では「自分たちで栽培した野菜の魅力を再確認してもらい、もっと農業に力を入れてもらえるとうれしい」と話した。(2018/2/15 ワイド2東海)

### 伊賀市

#### 意見交換や農業情勢学ぶ JAいがほくぶ青年部・JA伊賀南部生産者ら

JAいがほくぶ青年部はこのほど、伊賀市のJAいがほくぶ本店で情勢報告会・意見交換会を開いた。JA三重中央会やJA全農みえから農業・農政を取り巻く情勢を勉強する報告会と、地域農業の課題や意見を解決する方法を考える意見交換を行った。JAいがほくぶ青年部の盟友だけでなく、JA伊賀南部の若手生産者、JA職員ら計29人が参加した。情勢報告会では三重中央会と全農みえがJA自己改革の実践状況や米の流通販売情勢と伊賀米の取り組み、伊賀牛、業務用野菜を取り巻く情勢などを説明した。(2018/2/6 ワイド1東海)

### JA全農みえ

#### 店頭販売・窓口対応の強化へ 担当者研修会に8人が参加

JA全農みえ肥料農薬課は2月上旬、JA購買店舗の店頭販売・窓口対応の強化を狙いに担当者研修会を開き、8人が参加した。講義では、店内広告(POP)の役割や商品陳列の仕方について、実際の店舗事例を挙げながら説明。実習では「誰が見ても分かりやすい字」を目標に、実際に角ペンで練習し、研修で学んだ成果として「ラウンドアップ」のディスプレイを制作した。今後、JA購買店舗で「見せて伝える」POP陳列を展開し、一層の店舗活性化を目指す。(2017/12/26 ワイド1東海)

通常品と比べると、ホットの条件(茶10g、90℃、35秒)で、急須で浸出すると、うまみ成分のアミノ酸、渋味成分のタンニンともに多く出て、**図1**おり、水色も濃くなります。アイスの条件(茶10g、20℃、30秒)で、茶を入れたペットボトルをかき混ぜると、こちら浸出性に優れ、**図2**、うまみ・渋味成分のバランスがとれています。短時間で提供できることから、対面販売向きの高品質の商品として期待されています。

図1 ホットの条件の浸出性

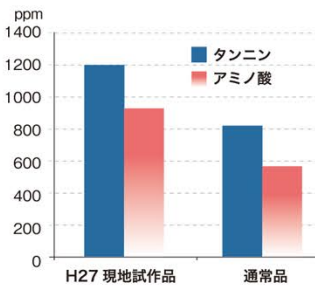
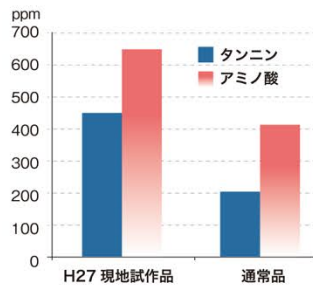


図2 アイスの条件の浸出性



お問い合わせ先 三重県農業研究所 茶業研究課 ☎0595-82-3125

明日の農業を担うみなさまへ  
JAバンクは地域農業を応援します!

### JAバンク利子補給制度のご案内

**最大年1% 利子補給**

JAバンクでは、農業者のみなさまに対して、借入負担の一部を軽減することにより、農業経営の安定化・効率化を支援します。

### 農業経営資金

農業を営むすべての方に

### 農機ハウスローン

農機具や軽トラックを急いで買い換えたい方に

### スーパーS資金

短期の運転資金が必要になった方に

### JA新規就農応援資金

農業を始める方や始めたばかりの方をバックアップ

### JA持続的農業応援資金

ベテラン農業者の方をバックアップ

### JA飼料用米等対応資金

飼料用米等の生産拡大に取り組む方に

### 農業近代化資金

認定農業者の方や一定の条件を満たす農業者の方に



農業近代化資金については、利子補給・利子助成内容がJAにより異なる場合があります。詳しくは、お近くのJA/バンク窓口までお問い合わせください。

<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>  
平成30年2月現在

### 【金利情報】平成30年2月20日現在

#### 農業経営資金

変動金利  
年**1.00%**

固定金利  
年**1.50~2.00%**

※上記の借入利率は、代表的な利率であり、JAによって異なる場合があります。適用利率等の詳細はお近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

#### スーパーS資金

年**1.5%**  
(変動金利)